目次

序 …… i

第一章　西洋古代世界の地図と都市図　芳賀京子 …… 1

一　メソポタミアとエジプト　2

二　ギリシア　4

三　ヘレニズム　9

四　ローマ　12

五　古代末期以降　20

第二章　十五世紀フィレンツェにおける都市図の展開
——フランチェスコ・ロッセッリの地図制作と都市の理念　石澤靖典 …… 31

はじめに　31

一　十五世紀前半における美術と地理学の関係　33

（一）プトレマイオス写本の翻訳の状況　33

（二）美術家と地理学の関係
——アルベルティ・ブルネッレスキ・遠近法 35
二　十五世紀後半——フランチェスコ・ロッセッリと《鎖に囲まれたフィレンツェ図》 41
（一）最初の地図版画業者としてのフランチェスコ・ロッセッリとその工房 41
（二）地理学の方法と人文主義思想 47
（三）《鎖に囲まれたフィレンツェ図》と都市の理念 52
三　ロッセッリの遺産 72
（一）ヴェネツィア滞在期の世界地図 72
（二）十六世紀の展開——パラッツォ・ヴェッキオ「グアルダローバ・ヌォーヴァ」 76
おわりに 81

第三章　ヴェネツィアの地図・都市図にみる共和国表象　佐々木　千佳 …… 99
はじめに 99
一　中世の世界図の伝統と《フラ・マウロの世界図》 102
（一）地形的／非地形的イメージの描出 102
（二）《フラ・マウロの世界図》 108
（三）地上の楽園の描写と共和国 113
二　十五世紀から十六世紀にかけての都市図 125

（一）比類なき都市のイメージ　125
（二）ヤコポ・デ・バルバリ《ヴェネツィア図》と聖なる都市　136
おわりに　147

第四章　十六世紀の日本における地図と都市図　坂本明子……159
一　洛中洛外図との比較論　159
はじめに　159
（一）日本における都市図の成立と展開　160
（二）失われた二つの屏風　167
おわりに　191
二　日本における地図受容の諸相　192
はじめに　192
（一）日本における地図制作　193
（二）ヨーロッパの日本図制作　195
（三）《日本図・世界図屏風》　200
おわりに　205

第五章　十八―九世紀の日本における都市図
――鍬形蕙斎筆《江戸一目図屏風》――　佐藤　琴……211
はじめに　211
一　めぐる季節　217
二　めぐる日月　228
おわりに　233
あとがき……247
索　引……264
著者紹介……265